

平成21年度
公共交通移動円滑化設備整備費補助金の交付実績について

国土交通省は、補助対象事業者から申請のあった平成21年度公共交通移動円滑化設備整備費補助金について、交付を行い、このたび次のとおり額が確定しました。

補助対象事業	補助事業者数	補助数量	国庫補助金額
ノンステップバス等の導入	81 事業者	911 両	1,190 (百万円)
福祉輸送普及促進モデル事業	該当なし		
合計	81 事業者	911 両	1,190 (百万円)

※ ノンステップバス等の導入については、平成21年度1号補正予算での補助分も含む。

1. 高齢者、障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにするためには、公共交通機関の各施設のバリアフリー化を総合的に推進することが重要であり、最も身近な公共交通機関であるバスについては、ノンステップバスの普及が強く求められているところです。
2. しかしながら、個々の公共交通事業者による努力のみに委ねてはバリアフリー化が進まない状況にあります。公共交通機関のバリアフリー化促進のためのインセンティブを働かせるため、国としてバス事業者等が行う公共交通移動円滑化設備整備事業に対して、地方公共団体と協調して経費の一部を補助するものです。

《補助事業の概要》

補助内容	補助率
ノンステップバス等の導入費補助	通常車両価格との差額の1/2
福祉輸送普及促進モデル事業	補助対象経費の1/3 (福祉車両の整備については1/2)

問合わせ先: 国土交通省自動車交通局旅客課
代表 5253-8111
内線 41233 直通03-5253-8571
担当 安慶田

〈参考1〉

公共交通移動円滑化設備整備費補助金交付実績内訳(平成21年度)

○ノンステップバス等の導入

単位:百万円

運輸局	事業者数	補助車両数	補助金額
北海道	4	19	32
東北	1	13	18
北陸信越	7	15	29
関東	39	492	639
中部	3	139	153
近畿	14	173	227
中国	6	18	28
四国	1	2	3
九州	6	40	59
合計	81	911	1,190

注1. 補助金額の合計額は、百万円未満を四捨五入していることから、各地方運輸局ごとの補助金額の合計と合わない。

注2. 補正予算による補助も含む

〈参考2〉

バリアフリー化の目標

平成22年までに、乗合バス総車両数(約6万台)の30%をノンステップバスとすることを目標としています。

ノンステップバス等の車両数の推移(平成21年3月末現在)

(単位:台)

平成 年度末	うち ノンステップバス			低床バス			リフト付バス			乗合バス 総車両数
	車両数	総車両数 比	指数	車両数	総車両数 比	指数	車両数	総車両数 比	指数	
13	2,294	3.9%	178.0	5,105	8.8%	177.4	407	0.7%	124.8	58,273
14	3,835	6.5%	297.5	8,095	13.8%	281.4	488	0.8%	149.7	58,801
15	5,432	9.3%	421.4	10,492	18.0%	364.7	564	1.0%	173.0	58,335
16	6,974	12.0%	541.0	13,144	22.6%	456.9	605	1.0%	185.6	58,119
17	8,639	14.8%	670.2	16,237	27.8%	564.4	682	1.2%	209.2	58,430
18	10,389	17.7%	806.0	19,434	33.1%	675.5	714	1.2%	219.0	58,735
19	12,216	20.3%	947.7	22,578	37.5%	784.8	745	1.2%	228.5	60,252
20	13,822	23.0%	1,072.3	25,038	41.7%	870.3	800	1.3%	245.4	59,973